

かめっ子だより No. 184

令和8年1月30日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

ケニアの中学生と繋がった！「ケニア&日本中継コンサート」②

クイズの後は、カバンについての話がありました。カバンはすでにケニアの子どもたちに届いているようです。ケニアの首都ナイロビから約 130 km離れた“エンブー県”にあるアンバサダー・クライシス・オブ・チャーチに通う子どもたちに渡されました。カバンを渡している画像が流れた時、「これ、自分のクラスのや！」と声が上がっていました。ケニアの子どもたちが、喜んで使ってくれると嬉しいですね。



最後に、『Jumbo Bwana (ジャンボ・ブアナ)』の曲を全員で歌いました。「ジャンボ・ブワナ」はスワヒリ語で「こんにちは、先生」という意味で、数多くのバンドや歌手がカバーしているケニアのポップ・ソングだそうです。短くてノリのいい曲で、子どもたちも楽しそうに歌っていました（次の日に口ずさんでいる子も…）。少し時間があったので、急遽、質問コーナーが設けられました。亀井小からは、「1日何時間授業ですか？」との質問。「9～10時間」の回答には、子どもたちもびっくり！ ケニアからは、「サッカーなどのeスポーツをしますか?」「刺身は好きですか?」「日本で美しいものは?」など聞かれました。「刺身はおいしい！ 特にイカ」と亀井小の児童が答えてくれました。生ものを食べない文化もあるので、ケニアの生徒たちは何を思ったことでしょう？ 約1時間の交流でしたが、めったにできない経験をすることができました。

